

3 事業報告書

事業報告書

令和3年度(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(1) 農作物共済関係

(引 受)

△印 減

年 産	共 済 目 的	組 合 員 数	引 受 面 積	共 済 金 額	徴収共済 掛 金 (A)	交 付 金 又 は 納 入 保 険 料 (B)	手 持 共 済 掛 金 (A) ± (B)
3	水 稻	人 26,390	a 1,678,197.8	円 11,343,675,666	円 41,162,095	円 41,041,896	円 82,203,991
	前年対比	△1,721	△234,910.3	△1,100,161,237	18,786,898	18,809,752	37,596,650
	麦	37	9,340.5	2,305,348	58,607	63,682	122,289
	計	26,427	1,687,538.3	11,345,981,014	41,220,702	41,105,578	82,326,280
4	麦	22	6,228.4	1,728,860	15,961	15,386	31,347
	前年対比	△15	△3,112.1	△576,488	△42,646	△48,296	△90,942

年 産	共 済 目 的	計 画 達 成 率 面 積	農 林 統 計 引 受 率	10 a 当たり平均		1組員当たり		平 均 単 位 当 た り 共 済 金 額 (kg 当 た り)
				基 準 収 穫 量	農 家 負 担 掛 金	引 受 面 積	農 家 負 担 掛 金	
3	水稻	% 97.5	% 74.4	kg 509	円 245	a 64	円 1,560	円 188.85
	麦	56.5	31.7	160	63	252	1,584	22.01
4	麦	77.7	21.1	157	26	283	726	22.04

引受の概要

(水稻)

水稻の引受面積は、農家の高齢化による離農や農業経営収入保険への移行により、約2,349ha減少した。

県内の作付面積22,550haに対する引受率は74.4%、共済金額は113億4,368万円（対前年比91.2%）となった。

(麦)

麦の引受面積は、作付けを中止する農家があったことや農業経営収入保険への移行により、約31ha減少した。

県内の作付面積354haに対する引受率は17.6%、共済金額は173万円（対前年比75.0%）となった。

(被 害)		△印 減					
共 済 目 的		被害組合員数	被 害 面 積	共 済 金	共 済 金	平 均 共 済 金	
					共 済 金 額	10アール当たり	1 組合員当たり
		人	a	円	%	円	円
水 稲		1,763	62,935.7	171,396,128	1.5	27,234	97,218
麦		17	866.3	100,622	4.4	1,162	5,919
計		延 1,780	63,802.0	171,496,750	-	-	-
前年	水 稲	△ 1,682	△ 43,277.4	△ 127,278,594	△0.9	△886	10,520
対比	麦	△ 10	△ 1,255.8	△ 114,395	△1.1	149	△2,045

被害の概要

(水 稲)

幼穂形成期の7月上・中旬が日照不足で推移したため、一部の圃場でいもち病の被害が発生した。7月下旬から8月上旬にかけて気温が高めに推移し日照時間も確保され一旦は回復した圃場もあったが、8月中旬以降日照不足で推移したため、いもち病の被害が拡大した。また、8月9日の台風9号と8月12日から14日にかけての豪雨により、倒伏による被害や河川からの土砂流入や冠水による被害が発生した。獣害は、主にシカやイノシシによる食害及び踏み荒らしの被害が全域で発生し、鳥害は早生品種を中心にスズメの被害が発生した。

(麦)

令和2年10月中旬から11月中旬の播種適期に気候が温暖だったため、発芽まで順調に生育が進んだが、幼苗期の降雨で過湿土壌により土中の酸素が欠乏し、生育不良となる被害が発生した。また、令和3年4月上旬の低温による不稔が一部の圃場で発生、5月中旬には降雨と強風で倒伏による被害が発生した。獣害は、生育初期のシカによる新芽の食害、乳熟期のイノシシによる食害や踏み荒らしの被害が発生した。

(支 払)

共 済 目 的	支 払 月 日	実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実 支 払 金 共 済 金
			保 険 金	手 持 掛 金 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額	そ の 他	
水 稲	令和3年12月22日、24日 令和4年2月22日	円 171,396,128	円 0	円 82,326,280	円 /	円 /	円 0	% 100.0
麦	令和3年9月7日	100,622						
計		171,496,750	0	82,326,280	1,041	89,169,429	0	100.0

(損害防止)

獣害対策として、「防護ネット（使用済みのり網）」の斡旋を行った。
また、病虫害対策として、広報紙によりトビイロウンカの対策情報を掲載した。

(2) 家畜共済関係

(引 受)

△印 減

項 目		組 合 員 数	有 資 格 頭 数	事 業 計 画 頭 数	引 受 頭 数	引 受 頭 数 事業計画頭数	共 済 金 額	徴収共済掛金	納 入 保 険 料	交 付 金	手 持 共 済 掛 金
区 分											
死 亡 廃 用	搾 乳 牛	117	5,794	7,284	7,259	99.7	2,200,200	67,028,236			
	育 成 乳 牛		2,813	3,893	4,953	127.2	1,104,605	7,038,352			
	繁 殖 用 雌 牛	527	4,656	5,020	5,024	100.1	1,551,272	8,080,598			
	育 成 ・ 肥 育 牛		21,579	35,691	37,369	104.7	16,135,774	47,091,309			
	育 成 ・ 肥 育 馬		0	0	0	-	0	0			
	種 豚	4	4,607	4,710	3,702	78.6	176,303	4,404,624			
	肉 用 種 種 雄 牛	1	2	2	2	100	257	5,220			
計		654	79,901	85,020	86,101	101.3	21,435,214	164,134,339	0	149,102,848	313,237,187
前 年 対 比		△ 43	10	1,190	△ 1,665		154,299	△ 7,278,398	0	△ 2,851,042	△ 10,129,440
疾 病 傷 害	乳 用 牛	125	8,607	8,197	8,448	103.1	187,162	63,673,120			
	肉 用 牛	540	26,235	21,299	21,700	101.9	187,346	35,148,017			
	一 般 馬		0	0	0	-	0	0			
	種 豚	1	4,607	2,450	2,383	97.3	13,213	6,816,235			
	肉 用 種 種 雄 牛	1	2	2	2	100	80	3,062			
計		667	39,451	31,948	32,533	101.8	387,801	105,640,434	0	103,458,563	209,098,997
前 年 対 比		△ 48	1,147	△ 1,567	△ 1,632		△ 320	△ 2,418,170	0	△ 1,842,617	△ 4,116,528

※有資格頭数は、令和4年2月1日現在。

引受の概要

死亡廃用共済において、酪農家の廃業が散見されるが、酪農の企業経営体の規模拡大により搾乳牛については概ね計画通りの引受となり、育成乳牛は引受頭数が増加した。繁殖用雌牛については、小規模な繁殖農家の廃業等が進んでおり、引受が減少している。育成・肥育牛では新規引受や大型肥育農家の増頭などにより引受が増加。種豚及び肉豚については大規模農家の設備改修による飼養頭数の減少により前年対比で大幅な減となった。

疾病傷害共済では、乳用牛で87頭の増加となったが、共済金額では360万円余りの減となった。肉用牛では、昨年度新規加入による始期統一のため短期引受を行ったことから頭数は1,312頭減少したが、新規引受や大規模肥育農家の増頭などにより、共済金額は434万円余りの増加となった。種豚については、大規模農家の設備改修による飼養頭数の減少に伴い、407頭、共済金額105万円減となった。

(事 故)

項 目		死 亡 廃 用 共 済				
区 分		死 亡 頭 数	法 令 殺 頭 数	廃 用 頭 数	総 頭 数	支 払 共 済 金
搾 乳 牛 育 成 乳 牛 ↳ 子牛等(内数) 繁 殖 用 雌 牛 育 成 ・ 肥 育 牛 ↳ 子牛等(内数) 育 成 ・ 肥 育 馬 種 豚 肉 用 種 種 雄 牛		頭	頭	頭	頭	円
		280	0	172	452	119,020,083
		168	0	4	172	15,420,298
		(151)	(0)	(0)	(151)	
		53	0	14	67	13,427,537
		461	0	29	490	60,812,822
		(397)	(0)	(0)	(397)	
		-	-	-	-	-
		264	0	0	264	10,915,850
		5,216	0	0	5,216	49,224,651
計		6,442	0	219	6,661	268,821,241
前 年 対 比		△ 1,168	0	1	△ 1,167	△ 20,020,224

事故の概要

(死廃事故)

牛では、育成乳牛の支払いが前年対比39頭、536万円余り増加したが、搾乳牛、繁殖用雌牛、育成・肥育牛で支払いが減少したため、合計では45頭、887万円余りの減となった。種豚については16頭、163万円余りの増となったが、肉豚では大規模農家において、施設の改修による引受頭数の減少に伴い、前年と比べて大幅に減少し支払頭数1,138頭、共済金1,344万円余りの減となった。

△印 減

項 目		疾 病 傷 害 共 済	
区 分		件 数	支 払 共 済 金
乳 用 牛		件	円
		9,054	136,685,385
肉 用 牛		11,356	125,153,636
一 般 馬		-	-
種 豚		2,120	13,006,629
計		22,530	274,845,650
前 年 対 比		893	△ 5,661,110

(病傷事故)

牛では、乳用牛の支払いが前年と比べて19件、880万円余り減少したが、肉用牛では477件、205万円の増加となった。種豚では前年対比で435件、106万円余り増加した。

(損害防止)

実 施 種 目		対 象 頭 数	経 費 概 算	摘 要
特 定 損 害 防 止 事 業		頭 833	円 6,472,970	乳用牛:周産期疾患 833頭
一 (診療所 実施) 止	家 畜 共 済 事 故 低 減 指 導 事 業	頭 190	円 684,000	乳用牛:代謝 ^ブ ロファイルテストによる飼育管理、疾病予防指導 123頭 肉用牛:代謝 ^ブ ロファイルテストによる飼育管理、疾病予防指導 67頭
	計	190	684,000	
一 般 損 害 防 止	家 畜 共 済 畜 舎 消 毒 事 業	頭 15,928	円 1,488,922	乳用牛:6,877頭 (延 128戸) 肉用牛:9,051頭 (延 325戸)
	計	15,928	1,488,922	

(診療所)

診 療 所 名	獣 医 師 数	有 資 格 頭 数	加 入 頭 数	診 療 件 数		損 害 防 止 事 業 (診 療 所 実 施)			そ の 他			摘 要
				共 済 事 故	事 故 外	一 般	特 損	経 費 概 算	予 防 注 射	人 工 授 精		
東 広 島	人 6	頭 5,356	頭 2,727	件 1,676	件 3,139	頭 0	頭 56	円 451,120	頭 2,859	件 522		
北 広 島	7	5,307	4,883	4,414	5,433	119	293	2,708,430	7,169	1,344		
府 中	8	18,821	16,240	4,329	6,585	0	223	1,629,960	5,060	613		
庄 原	6	4,758	4,841	3,615	4,734	12	163	1,346,240	5,237	774		
三 次	4	5,209	3,842	2,690	2,416	59	98	1,021,220	2,080	523		
計	31	39,451	32,533	16,724	22,307	190	833	7,156,970	22,405	3,776		

(3) 果樹共済関係

(引 受)

△印 減

果 樹 区 分	項 目 年 産	組 合 員 数		引 受 面 積	共 済 金 額	徴収共済掛金 (A)	交 付 金 又 は 納 入 保 険 料 (B)	手 持 共 済 掛 金 (A) ± (B)
		延	実					
う ん し ゅ	(減収総合一般)	人	人	a	円	円	円	円
	令和4年産計 A	271	196	2,603.3	33,731,000	528,887	39,010	567,897
	令和3年産計 B	284	204	2,730.2	35,136,000	562,653	41,505	604,158
	前年対比 A-B	△13	△8	△126.9	△1,405,000	△33,766	△2,495	△36,261
	参考 1 組合員当たり 10アール当たり			13.3 129,570	172,097			
う み か ん	(災害収入)							
	令和4年産計 A	95	95	3,810.5	80,090,000	1,194,470	2,504	1,196,974
	令和3年産計 B	109	109	4,392.4	88,857,000	1,376,521	2,878	1,379,399
	令和2年産計 C	133	133	5,336.0	99,614,000	1,572,157	3,278	1,575,435
	前年対比 A-B	△14	△14	△581.9	△8,767,000	△182,051	△374	△182,425
な つ み か ん	(減収総合一般)							
	令和5年産計 A	19	19	144.0	1,603,000	13,779	1,626	15,405
	令和4年産計 B	22	22	185.0	2,063,000	18,220	2,140	20,360
	令和3年産計 C	25	25	205.0	2,275,000	21,880	2,560	24,440
	前年対比 A-B	△3	△3	△41.0	△460,000	△4,441	△514	△4,955
指 定 か ん き つ	(減収総合一般)							
	令和5年産計 A	138	109	1,442.4	28,395,000	321,903	200,762	522,665
	令和4年産計 B	145	114	1,584.0	32,070,000	381,191	237,748	618,939
	令和3年産計 C	147	116	1,668.1	31,817,000	388,154	242,096	630,250
	前年対比 A-B	△7	△5	△141.6	△3,675,000	△59,288	△36,986	△96,274
指 定 か ん き つ	(災害収入)							
	参考 1 組合員当たり 10アール当たり			13.2 196,859	260,505			
	令和5年産計 A	92	92	4,569.3	127,673,000	1,331,916	977,688	2,309,604
	令和4年産計 B	105	105	5,143.8	148,115,000	1,510,086	1,108,432	2,618,518
	令和3年産計 C	132	132	5,953.1	173,268,000	1,828,650	1,342,311	3,170,961
指 定 か ん き つ	前年対比 A-B	△13	△13	△574.5	△20,442,000	△178,170	△130,744	△308,914
	参考 1 組合員当たり 10アール当たり			49.7 279,415	1,387,750			

果 樹 区 分		項 目 年 産	組 合 員 数		引 受 面 積	共 済 金 額	徴収共済掛金 (A)	交 付 金 又 は 納 入 保 険 料 (B)	手 持 共 済 掛 金 (A) ± (B)
			延	実					
りん	(減収総合一般)	令和4年産計 A	23	9	714.8	30,141,000	1,237,092	△639,361	597,731
		令和3年産計 B	5	2	177.9	6,969,000	213,433	△110,313	103,120
		前年対比 A－B	18	7	536.9	23,172,000	1,023,659	△529,048	494,611
		参考 1 組合員当たり			79.4	3,349,000			
		10アール当たり				421,670			
	(半相殺特定危険3点)	令和3年産計 A	33	13	1,237.1	62,789,000	1,207,259	△436,318	770,941
		令和2年産計 B	33	13	1,269.7	61,123,000	1,232,461	△445,538	786,923
		前年対比 A－B	0	0	△32.6	1,666,000	△25,202	9,220	△15,982
		参考 1 組合員当たり			95.2	4,829,923			
		10アール当たり				507,550			
ぶどう	(減収総合一般)	令和4年産計 A	64	61	1,320.1	120,010,000	493,373	124,182	617,555
		令和3年産計 B	72	69	1,440.3	123,242,000	505,833	127,462	633,295
		前年対比 A－B	△8	△8	△120.2	△3,232,000	△12,460	△3,280	△15,740
		参考 1 組合員当たり			21.6	1,967,377			
		10アール当たり				909,098			
	(災害収入)	令和4年産計 A	13	13	3,046.3	455,967,000	2,214,789	△20,983	2,193,806
		令和3年産計 B	12	12	2,844.2	411,339,000	1,963,008	△18,508	1,944,500
		前年対比 A－B	1	1	202.1	44,628,000	251,781	△2,475	249,306
		参考 1 組合員当たり			234.3	35,074,385			
		10アール当たり				1,496,790			
なし	(減収総合一般)	令和4年産計 A	28	15	546.9	21,361,000	800,993	△390,443	410,550
		令和3年産計 B	31	17	598.0	22,730,000	885,300	△431,533	453,767
		前年対比 A－B	△3	△2	△51.1	△1,369,000	△84,307	41,090	△43,217
		参考 1 組合員当たり			36.5	1,424,067			
		10アール当たり				390,583			
	(特定園地危険3点)	令和3年産計 A							
		令和2年産計 B	2	1	87.1	2,616,000	51,424	△11,107	40,317
		前年対比 A－B	△2	△1	△87.1	△2,616,000	△51,424	11,107	△40,317
		参考 1 組合員当たり			0.0	0			
		10アール当たり				0			
収 穫 共 済 計			776	622	19,434.7	961,760,000	9,344,461	△141,333	9,203,128
前 年 対 比			△44	△46	△1,017.9	27,500,000	644,331	△644,499	△168

(引受の概要：収穫共済)

令和3年度の引受けは、うんしゅうみかん、なつみかん、指定かんきつ（はっさく、ネーブルオレンジ、清見、不知火、はるみ、レモン）、りんご、ぶどう、なしの6樹種を対象に半相殺減収総合一般方式、半相殺特定危険方式、災害収入共済方式の3区分の収穫共済で実施した。

常緑果樹は、新規引受はあったが、高齢化による栽培規模の縮小、廃園による加入中止、収入保険へ8人、473.0a移行したため、戸数、引受面積は減少となった。

落葉果樹は、伐採、廃園、改植等による加入中止や、収入保険へ13人、339.2aの移行があったが、新規引受や特定危険方式の廃止に伴う減収総合一般方式への移行もあり、引受面積は増加した。

令和2年産結果樹面積（参考数値）に対する引受率及び前年対比（面積）は、うんしゅうみかん（半相殺減収総合一般方式）1.5%、95.4%、うんしゅうみかん（災害収入共済方式）2.2%、86.8%、なつみかん（半相殺減収総合一般方式）2.9%、77.8%、指定かんきつ（半相殺減収総合一般方式）2.0%、91.1%、指定かんきつ（災害収入共済方式）4.5%、88.8%、りんご（半相殺減収総合一般方式）8.3%、401.8%、りんご（半相殺特定危険方式）14.6%、97.4%、ぶどう（半相殺減収総合一般方式）4.7%、91.7%、ぶどう（災害収入共済方式）10.9%、107.1%、なし（半相殺減収総合一般方式）4.0%、91.5%となった。

果樹 区 分	項 目 年 度	組 合 員 数		引 受 面 積	共 済 金 額	徴収共済掛金 (A)	交 付 金 又 は 納 入 保 険 料 (B)	手 持 共 済 掛 金 (A) ± (B)	
		延	実						
樹 体	うんしゅうみかん	令和3年度計 A	人 2	人 2	a 68.1	円 8,062,000	円 17,736	円 17,085	円 34,821
		令和2年度計 B	2	2	61.1	6,859,000	16,804	16,188	32,992
		前年対比 A－B	0	0	7.0	1,203,000	932	897	1,829
		参考 1 組合員当たり 10アール当たり			34.1 4,031,000				
	なつみかん	令和3年度計 A	0	0	0.0	0	0	0	0
		令和2年度計 B	0	0	0.0	0	0	0	0
		前年対比 A－B	0	0	0.0	0	0	0	0
		参考 1 組合員当たり 10アール当たり			- -				
	指定かんきつ	令和3年度計 A	2	2	53.4	14,771,000	19,276	18,081	37,357
		令和2年度計 B	2	2	51.1	12,946,000	18,772	17,608	36,380
前年対比 A－B		0	0	2.3	1,825,000	504	473	977	
参考 1 組合員当たり 10アール当たり				26.7 2,766,105					
ぶどう	令和3年度計 A	4	4	40.0	17,817,000	67,835	47,219	115,054	
	令和2年度計 B	4	4	40.0	16,863,000	67,807	47,214	115,021	
	前年対比 A－B	0	0	0.0	954,000	28	5	33	
	参考 1 組合員当たり 10アール当たり			10.0 4,454,250					
樹 体 共 済 計		8	8	161.5	40,650,000	104,847	82,385	187,232	
前 年 対 比		0	0	9.3	3,982,000	1,464	1,375	2,839	
果 樹 共 済 計		784	630	19,596.2	1,002,410,000	9,449,308	△58,948	9,390,360	
前 年 対 比		△44	△46	△1,008.6	31,482,000	645,795	△643,124	2,671	

(引受の概要：樹体共済)

令和3年度の引受けは、うんしゅうみかん、指定かんきつ、ぶどうの3樹種を対象に令和2年産結果樹面積（参考数値）に対する引受率は、うんしゅうみかん0.04%、指定かんきつ0.07%、ぶどう0.14%となった。

(被 害・支 払)

項 目		年産	被 害 組 合 員 数	共 済 金	共 済 金	支 払 月 日	実 支 払	共 済 金 支 払 財 源					実 支 払	
					共 済 金 額			保 険 金	手 持 掛 金 充 当 額	法 定 積 立 金 充 当 額	特 別 積 立 金 充 当 額	そ の 他		共 済 金 額
果樹区分				円	%		円	円	円	円	円	円	%	
うんしゅうみかん	(一般)	3	人 8	230,630	0.7	令和4年3月17日	230,630	28,201,951	6,541,839			0	100.0	
なつみかん	(一般)	4	0	0	-	-	0							
指定かんきつ	(一般)	3	4	226,660	0.7	令和3年6月24日	226,660							
りんご	(一般)	3	1	16,980	0.2	令和4年3月3日	16,980							
	(特定)	3	13	23,678,800	37.7	令和4年3月3日	23,678,800							
ぶどう	(一般)	3	5	626,070	0.5	令和3年12月16日	626,070							
なし	(一般)	3	14	9,964,650	43.8	令和3年12月16日	9,964,650							
うんしゅうみかん	(災害)	2	8	1,145,912	1.2	令和3年11月18日	1,145,912	0	1,145,912			0	100.0	
指定かんきつ	(災害)	3	5	1,020,946	0.7	令和3年11月18日	1,020,946	0	1,020,946			0	100.0	
ぶどう	(災害)	3	0	0	-	-	0	0	0			0	-	
計			58	36,910,648	3.9		36,910,648	28,201,951	8,708,697	0	0	0	100.0	
前 年 対 比			#REF!	#REF!			#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!		

(被害の概況)

① 令和3年産 うんしゅうみかん (半相殺減収総合一般方式)

令和3年8月中旬からイノシシによる食害、枝折れの被害が発生した。
令和3年8月中旬の長雨により、黒点病が発生した。
令和3年10月上旬より蛾 (ヒメエグリバ) 及びカメムシによる吸害が発生した。

令和3年4月10日の降霜により花そうが枯死し、残った果実にも傷果が発生した。
令和3年6月下旬からハクビシンによる食害が発生した。
令和3年7月中旬から黒星病が発生した。
令和3年8月9日の台風9号の接近による強風の影響で果実の落下が発生した。

② 令和3年産 指定かんきつ (半相殺減収総合一般方式)

令和2年9月7日の台風10号により風すれが発生した。
令和2年12月中旬からイノシシによる食害、枝折れの被害が発生した。
令和3年1月7日からの寒波により、はっさく、不知火に、す上がり、枝枯れ、不知火に果皮の変色、腐敗の被害が発生した。
令和3年1月下旬からカラスとヒヨドリによる食害が発生した。

令和2年7月中旬から黒点病の被害が発生した。
令和2年8月上旬から降雨が少なく干ばつ状態となり、日焼け果、小玉果の被害が発生した。
令和2年8月中旬からイノシシによる食害、枝折れの被害が発生した。
令和2年10月上旬からカラスによる食害が発生した。

③ 令和3年産 りんご (半相殺減収総合一般方式)

令和3年3月下旬からシカによる花芽の食害と枝折りが発生した。
令和3年4月9日からの降霜により中心果や花そうが枯死する被害が発生した。
令和3年7月中旬からカラスによる果実の食害が発生した。
令和3年7月中旬から褐斑病の被害が発生した。

令和2年8月上旬から降雨が少なく高温、強日射により日焼け果、小玉果の被害が発生した。
令和2年11月の長雨、曇天により黒点病が発生した。
令和2年11月中旬からイノシシによる食害が発生した。
令和2年12月下旬からの強い寒風により、不知火に風すれ、落果の被害が発生した。
令和3年1月7日からの寒波により、レモン、不知火の果皮障害、す上がり、枝枯れの被害が発生した。

④ 令和3年産 りんご (半相殺特定危険方式)

令和3年4月9、10、11、15日の降霜により花器に枯死や雄しべ、雌しべが褐変する被害が発生した。また、残った果実にはサビ果が発生した。
令和3年8月9日の台風9号の接近による強風の影響で果実の落下が発生した。

⑤ 令和3年産 ぶどう (半相殺減収総合一般方式)

令和3年5月中旬の集中した降雨と多湿、また夜温が高かったため灰色かび病が発生した。
開花期の降雨多湿、日照不足により樹体内のバランスが崩れ花ぶるいが発生した。
令和3年8月中旬からの大雨及び曇天により、果粒が裂果し腐敗する被害が発生した。また日照不足により着色不良が発生した。
令和3年8月下旬からアライグマ及びハクビシンによる果実の食害が発生した。

(4) 畑作物共済関係

(引 受)

△印 減

項目 年度	畑作物 区分	組合員数	引受面積	共済金額	徴収共済掛金 (A)	交付金又は 納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A±B)	農林統計 引受率
		人	a	円	円	円	円	%
3	大豆	65	7,917.3	7,964,641	283,408	228,247	511,655	19.4
前年対比		△17	△4,694.1	△7,600,684	△255,069	△179,293	△434,362	△9.9

項目 年度	畑作物 区分	10アール当たり平均		1組合員当たり平均		平均単位当たり
		基準 収穫量	農家負担 掛金	引受面積	農家負担 掛金	共済金額 (kg当たり)
		kg	円	a	円	円
3	大豆	101	358	121.8	4,360	141.28
前年対比		△2	△69	△32.0	△2,207	

引受の概要

法人等大型農家が農業経営収入保険に移行したことや、作付け中止及び大豆から他の作物への転換により、引受面積は79.2ha（対前年比62.8%）、共済金額は796万円（対前年比51.2%）となった。引受率は、県内の作付面積408haに対し、19.4%となった。

(被 害)					△印 減			
項目 年度	畑 作 物 区 分	被 組 合 員 数 害 数	被 害 面 積	共 済 金	共 済 金	1 戸 当 た り 平 均		備 考
					共 済 金 額	被 害 面 積	共 済 金	
3	大 豆	人 29	a 1,936.1	円 512,402	% 6.4	a 66.8	円 17,669	
前 年 対 比		△7	△419.8	△359,713	0.8	1.4	△6,556	

被害の概要

(大豆)

7月中旬にまとまった降雨があったため、過湿土壌による土中の酸素が欠乏し発芽不良や生育不良が発生した。

8月12日から14日にかけての豪雨により、河川からの土砂流入により圃場の一部が埋没する被害が発生した。

中山間部を中心にシカによる生育初期の新芽の食害による生育遅延等、イノシシによる収穫時期の食害や踏み荒らしの被害が発生した。

項目 年度	畑 作 物 区 分	支 払 月 日	実 支 払 金 共 済 金	共 済 金		支 払 財 源			実支払共済金 共 済 金
				保 険 金	手 持 掛 金 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額	そ の 他	
3	大 豆	令和4年3月22日	円 512,402	円 0	円 511,655	円 747	円 0	円 0	% 100.0
前 年 対 比			△359,713	#REF!	△360,460	747	0	#REF!	

(5) 園芸施設共済関係

(引 受)

△印 減

施 設 区 分 \ 項 目	組 合 員 数	引 受 棟 数	設 置 面 積	共 済 価 額	共 済 金 額	徴収共済掛金 (A)	交 付 金 又 は 納入保険料(B)	手持共済掛金 (A±B)
	人	棟	㎡	千円	千円	円	円	円
ガ ラ ス 室 I 類	1	1	274	2,039	1,631	1,084	857	1,941
〃 II 類	8	20	6,922	91,834	77,483	16,328	2,077	18,405
プラスチックハウス I 類	0	0	0	0	0	0	0	0
〃 II 類	1,062	4,123	1,014,179	3,793,750	3,104,038	19,463,670	4,431,907	23,895,577
〃 III 類	54	76	62,543	336,548	261,797	949,811	497,058	1,446,869
〃 IV 類	甲	44	108	70,328	573,066	415,315	440,374	1,772,664
	乙	15	36	33,511	382,921	90,871	45,506	136,377
〃 V 類	23	49	48,902	492,078	403,975	376,774	194,543	571,317
〃 VI 類	61	283	51,237	143,892	116,532	855,104	202,256	1,057,360
〃 VII 類	2	2	2,657	1,032	956	54,986	4,195	59,181
計	1,270	4,698	1,290,553	5,817,160	4,575,432	23,140,918	5,818,773	28,959,691
前 年 対 比	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!

施 設 区 分 \ 項 目	1 組 合 員 当 た り				1 棟 当 た り		
	棟 数	面 積	共 済 金 額	農 家 掛 金	面 積	共 済 金 額	農 家 掛 金
	棟	㎡	千円	円	㎡	千円	円
ガ ラ ス 室 I 類	1	274	1,631	1,084	274	1,631	1,084
〃 II 類	3	865	9,685	2,041	346	3,874	816
プラスチックハウス I 類	0	0	0	0	0	0	0
〃 II 類	4	955	2,923	18,327	246	753	4,721
〃 III 類	1	1,158	4,848	17,589	823	3,445	12,498
〃 IV 類	甲	2	1,598	9,439	651	3,846	12,336
	乙	2	2,234	12,914	931	5,381	2,524
〃 V 類	2	2,126	17,564	16,381	998	8,244	7,689
〃 VI 類	5	840	1,910	14,018	181	412	3,022
〃 VII 類	1	1,329	478	27,493	1,329	478	27,493
計	4	1,016	3,603	18,221	275	974	4,926
前 年 対 比	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!

引受の概要

令和3年度の引受けは、未加入者への個別訪問や、小損害不填補1万円特約の推進により新規の加入はあったが、高齢化などによる離農や廃業により、引受戸数、引受棟数、引受面積は減少した。共済価額、共済金額については、令和3年4月から施設本体及び被覆材の標準単価の見直しが行われ価額の上昇により増加している。

有資格棟数（令和4年3月組合調査）に対する引受率は、48.2%となった。

(被 害)												△印 減	
施 設 区 分	項 目	被 害			損 害 額	共 済 金							共済金額
		組 合 員 数	棟 数	附 帯 施 設 数		特 定 園 芸 施 設	附 帯 施 設	施 設 本 体	撤 去 費 用	本 復 旧 費 用	附 帯 施 設 復 旧 費 用	合 計	
		人	棟	基	円	円	円	円	円	円	円	円	%
ガ ラ ス 室	I 類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
〃	II類	1	1	1	933,055	170,444	576,000	0	0	0	0	746,444	1.0%
プラスチックハウス	I 類	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
〃	II類	82	172	6	17,060,327	6,133,478	1,131,655	6,485,366	88,720	0	0	13,839,219	0.4%
〃	III類	3	4	0	303,086	242,468	0	0	0	0	0	242,468	0.1%
〃	IV類	甲	6	7	227,773	182,216	0	0	0	0	0	182,216	0.0%
		乙	1	1	134,426	107,540	0	0	0	0	0	107,540	0.1%
〃	V類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
〃	VI類	4	14	0	379,572	303,379	0	0	0	0	0	303,379	0.3%
〃	VII類	1	1	0	21,367	17,093	0	0	0	0	0	17,093	1.8%
計		98	200	7	19,059,606	7,156,618	1,707,655	6,485,366	88,720	0	0	15,438,359	0.3%
前 年 対 比		△ 32	△ 28	4	△ 1,234,705	△ 4,971,865	1,584,472	3,129,421	88,720	0	△ 70,963	△ 240,215	△ 0.2

施 設 区 分	項 目	1 組 合 員 当 た り			1 棟 当 た り			被 害 棟 数					
		棟 数	共 済 金	被害率	共 済 金	被害率	施 設 本 体	附 帯 施 設	施 設 本 体	施 設 内 物	撤 去 費 用	本 復 旧 費 用	附 帯 施 設 復 旧 費 用
ガ ラ ス 室	I 類	棟	円	%	円	%	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟
		0.0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
	Ⅱ類	1.0	746,444	7.7	746,444	19.3	1	1	0	0	0	0	0
プラスチックハウス	I 類	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	Ⅱ類	2.1	168,771	5.8	80,461	10.7	89	6	79	1	0	0	0
	Ⅲ類	1.3	80,823	1.7	60,617	1.8	4	0	0	0	0	0	0
	Ⅳ類	甲	1.2	30,369	0.3	26,031	0.7	7	0	0	0	0	0
		乙	1.0	107,540	0.8	107,540	2.0	1	0	0	0	0	0
	V 類	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
	Ⅵ類	3.5	75,845	4.0	21,670	5.3	14	0	0	0	0	0	0
	Ⅶ類	1.0	17,093	3.6	17,093	3.6	1	0	0	0	0	0	0
計		2.0	157,534	4.4	77,192	7.9	117	7	79	1	0	0	0
前 年 対 比		0.2	36,930	1.7	8,426	△ 4.6	△ 88	4	30	1	0	△ 1	

被害の概要

令和3年度の被害状況は、7月12日、8月13日の大雨により県北西部の河川の一部が氾濫し、施設本体の倒壊や附帯施設、施設内農作物に被害が発生した。また、8月9日の台風9号の強風により7月と8月を合わせて支払対象農家47戸、120棟の被害となった。

施設内農作物では、7月の大雨による水害、9月には軟腐病が発生し、支払対象農家8戸、79棟の被害となった。

令和3年度の特定園芸施設ごとの保険金は17棟で、年間超過損害保険金は発生しなかった。

(支 払)

実 支 払 共 済 金	共 済 金 支 払 財 源					実支払共済金 共 済 金
	保 険 金	手持掛金充当額	法定積立金充当額	特別積立金充当額	そ の 他	
円	円	円	円	円	円	%
15,438,359	2,011,489	13,426,870	0	0	0	100.0

(6) 任意共済関係

① 建物共済

(引受関係)

△印 減

	加 入 棟 数	共 済 金 額	共 済 掛 金		1 棟 当 た り 平 均 共 済 金 額	保 険 料	保 険 手 数 料
			純 共 済 掛 金	賦 課 金			
	棟	円	円	円	円	円	円
	97,613	1,123,721,320,000	674,399,092	456,324,447	11,512,005	386,770,088	129,763,557
前 年 対 比	△2,763	△32,374,030,000	△12,968,041	△10,541,649	△5,642	△7,286,122	△ 2,887,981

引受の概要

新規引受けは、棟数855棟、共済金額93億5,299万円の引受けはあったが、他共済への移行、無人住宅の増加等により、昨年度に比べ火災共済は棟数2,478棟、共済金額315億1,819万円の減少となった。総合共済は、棟数285棟、共済金額8億5,584万円の減少となった。

引受け全体では、棟数2,763棟、共済金額323億7,403万円の減少となった。

(事故関係)

△印 減

	事 故 棟 数	加 入 総 共 済 金 額 (イ)	支 払 共 済 金			保 険 金	被 害 率 (ロ)/(イ)
			火 災 等	風 水 害 等	合 計 (ロ)		
	棟	円	円	円	円	円	%
	1,188	13,898,260,000	197,220,117	112,070,632	309,290,749	93,146,537	2.23
前 年 対 比	406	3,630,480,000	△245,937,180	64,271,530	△181,665,650	△54,140,106	△ 2.55

事故の概要

事故棟数は、昨年度に比べ406棟増加したが、支払共済金は約1億8,167万円減少した。

火災等の事故は落雷が増加したが、全焼事故は減少し、支払共済金は約2億4,594万円減少した。

自然災害の事故は、豪雨、土砂崩れ及び積雪による事故が増加し、支払共済金は約6,427万円増加した。

(建物共済原因別事故発生状況)

事 故 の 原 因 別	事 故 棟 数	加 入 総 共 済 金 額 (イ)	支 払 共 済 金 (ロ)	保 險 金	被 害 率 (ロ)/(イ)	支 払 割 合
	棟	円	円	円	%	%
か ま ど	1	11,000,000	13,200,000	3,960,000	120.0	4.3
コ ン ロ	1	17,000,000	88,770	26,631	0.5	0.0
ス ト ー ブ	3	82,600,000	32,691,860	9,807,557	39.6	10.6
焚 火	2	13,000,000	17,926,720	5,378,014	137.9	5.8
灯 火	1	2,050,000	2,406,571	721,971	117.4	0.8
そ の 他 の 火 の 粉	1	35,000,000	1,343,763	403,128	3.8	0.4
漏 電	4	27,000,000	15,338,574	4,601,571	56.8	5.0
その他の電気器具	2	19,000,000	12,673,114	3,801,933	66.7	4.1
類 焼	10	68,880,000	27,756,898	8,327,067	40.3	9.0
そ の 他 の 原 因	3	21,000,000	1,360,134	408,039	6.5	0.4
火 災 合 計 ①	28	296,530,000	124,786,404	37,435,911	42.1	40.3
前 年 対 比	△ 17	△ 276,110,000	△ 253,149,425	△ 75,944,815	△ 23.9	△ 36.7
水 道 管 凍 結	209	2,846,640,000	8,542,926	2,562,837	0.3	2.8
落 雷	287	4,677,150,000	29,178,960	8,753,568	0.6	9.4
外部からの落下等	59	903,000,000	2,322,569	696,747	0.3	0.8
車両の飛び込み	22	342,000,000	2,552,985	765,886	0.7	0.8
給排水設備	77	1,196,500,000	28,492,101	8,547,602	2.4	9.2
盗難による汚毀損	4	35,500,000	56,828	17,047	0.2	0.0
建物内部の車両衝突	7	93,000,000	1,287,344	386,202	1.4	0.4
拡張担保合計②	665	10,093,790,000	72,433,713	21,729,889	0.7	23.4
前 年 対 比	157	2,300,000,000	7,212,245	2,163,602	△ 0.1	10.1
自然災害以外の 合 計 ① + ②	693	10,390,320,000	197,220,117	59,165,800	1.9	63.8

事 故 の 原 因 別	事 故 棟 数	加 入 総 共 済 金 額 (イ)	支 払 共 済 金 (ロ)	保 險 金	被 害 率 (㍑)/(イ)	支 払 割 合
	棟	円	円	円	%	%
風 台 風	32	229, 200, 000	3, 901, 785	1, 170, 521	1. 7	1. 3
強 風	7	73, 000, 000	375, 262	112, 575	0. 5	0. 1
大 雨 ・ 豪 雨	89	592, 000, 000	45, 773, 248	13, 731, 934	7. 7	14. 8
そ の 他 の 水 害	1	2, 000, 000	4, 576	1, 372	0. 2	0. 0
風 水 台 風	49	399, 400, 000	6, 752, 490	2, 025, 723	1. 7	2. 2
暴 風 雨	13	86, 140, 000	1, 633, 228	489, 964	1. 9	0. 5
土 砂 崩 れ	17	127, 000, 000	8, 982, 995	2, 694, 892	7. 1	2. 9
積 雪	285	1, 949, 200, 000	42, 848, 208	12, 854, 336	2. 2	13. 9
自 然 災 害 合 計 ③	493	3, 457, 940, 000	110, 271, 792	33, 081, 317	3. 2	35. 7
前 年 対 比	264	1, 556, 590, 000	62, 472, 690	18, 741, 687	0. 7	26. 0
地 震	2	50, 000, 000	1, 798, 840	899, 420	3. 6	0. 6
地 震 等 合 計 ④	2	50, 000, 000	1, 798, 840	899, 420	3. 6	0. 6
前 年 対 比	2	50, 000, 000	1, 798, 840	899, 420	3. 6	0. 6
合 計	1, 188	13, 898, 260, 000	309, 290, 749	93, 146, 537	2. 2	100. 0
前 年 対 比	406	3, 630, 480, 000	△ 181, 665, 650	△ 54, 140, 106	△ 2. 6	－

② 農機具共済

(引受関係)

△印 減

	加 入 台 数	共 済 金 額	共 済 掛 金		1 台 当 た り
			純 共 済 掛 金	賦 課 金	平 均 共 済 金 額
	台	円	円	円	円
	9,729	21,082,300,000	63,911,470	31,027,007	2,166,954
前 年 対 比	36	770,440,000	2,065,584	953,396	71,436

引受の概要

新規引受けは、台数551台、共済金額14億9,604万円の引受けとなった。そのうち機種追加した野菜調製機等に係る引受けは24台、5,728万円となった。

引受全体では高齢化等による離農で個人所有の加入農機具の廃棄、売却等あったものの、新規加入や法人等の大型農機具の引受けにより、台数は36台、共済金額は7億7,044万円増加した。

(事故関係)

△印 減

	事 故 台 数	加 入 総 共 済 金 額 (イ)	支 払 共 済 金				被 害 率 (ロ)/(イ)
			火 災 等	風 水 害 等	そ の 他	合 計 (ロ)	
	台	円	円	円	円	円	%
	111	435,180,000	1,395,686	4,685,980	27,118,623	33,200,289	7.63
前 年 対 比	7	47,020,000	△1,026,657	3,249,539	1,184,418	3,407,300	△0.05

事故の概要

事故台数は、昨年度に比べ7台増加し、支払共済金も約341万円増加した。

火災等の事故は、物体の落下、落雷等であわせて8台、風水害等の事故は、台風、洪水及び雪害であわせて7台となった。また、その他の事故は、衝突、接触、墜落、転覆及び異物の巻き込み等の稼働中の事故があわせて96台となり、全体の86.5%を占めた。

(7) 農機具更新共済関係

(引受関係)

△印 減

	加 入 台 数	共 済 金 額	減 価 共 済 金 額	共 済 掛 金				1 台 当 たり
				純 共 済 掛 金		賦 課 金	計	平 均 共 済 金 額
				損 害 部 分	減 価 部 分			
	台	円	円	円	円	円	円	円
	3	8,560,000	8,560,000	25,337	1,172,720	26,879	1,224,936	2,853,333
前 年 対 比	△1	△5,290,000	△5,290,000	△15,658	△724,730	△16,611	△756,999	△609,167

引受の概要

継続引受けのうち、加入者申告による契約解除があり、台数で1台、共済金額で529万円の減少となった。

(事故関係)

△印 減

	事故台数	期 間 満 了 台 数	加 入 総 共 済 金 額 (イ)	支 払 共 済 金					被 害 率 (ロ)/(イ)
				事 故 に よ る も の				期 間 満 了 の も の	
				火 災	風 水 害 等	そ の 他	計 (ロ)		
	台	台	円	円	円	円	円	%	
	1	0	4,720,000	0	0	291,222	291,222	0	6.2
前 年 対 比	1	0	4,720,000	0	0	291,222	291,222	0	6.2

事故の概要

事故は、その他の事故で、接触による稼働中の事故が1台、約29万円の支払いとなった。また、責任期間が満了するものはなかった。

(8) 農業経営収入保険関係

(引 受)

経 営 形 態	加 入 経 営 体	基 準 収 入	保 険 金 額	補 填 対 象 金 額	納 入 保 険 料 等			
					保 険 料	積 立 金	事 務 費	合 計
	経営体	円	円	円	円	円	円	円
個 人	959	5,775,215,617	4,016,343,604	482,411,907	45,174,654	120,603,314	13,281,423	179,059,391
法 人	254	7,093,828,023	5,092,296,174	620,365,855	56,794,142	155,091,553	12,532,488	224,418,183
計	1,213	12,869,043,640	9,108,639,778	1,102,777,762	101,968,796	275,694,867	25,813,911	403,477,574
前 年 対 比	460	3,294,013,813	2,321,357,110	270,768,209	33,842,781	67,692,207	6,629,346	108,164,334

引受の概要

前年度に比べて、460経営体の増加になった。1 経営体当たりの基準収入額は、個人経営体で約602万円、法人経営体で約2,793万円であった。

また、主な対象品目は、水稻、野菜、果樹、花などであった。

(支 払)

経 営 形 態	補 填 金				つ な ぎ 資 金	
	経 営 体 数	保 険 金	特 約 補 填 金	合 計	経 営 体 数	貸 付 金 額
	経営体	円	円	円	経営体	円
個 人	205	95,198,910	103,345,588	198,544,498	20	59,060,000
法 人	70	278,087,232	177,899,365	455,986,597	20	271,890,000
計	275	373,286,142	281,244,953	654,531,095	40	330,950,000
前 年 対 比	173	182,487,387	166,880,731	349,368,118	24	231,650,000

被害の概要

8月の豪雨や長雨などの気象災害、病虫害、新型コロナウイルスの影響による出荷数量の減少や販売価格が低下し、収入が減少した。

(9) 業 務 関 係
ア 重要な処理事項

月 日	行 事 内 容	場 所
令和3年		
4月5日～7日	新任職員研修会	広島市
4月19日	広島県農業共済研修基金運用委員会	〃
4月20日	決算監査(福山支所)	福山市
4月22日	〃 (北広島支所)	北広島町
〃	〃 (北広島家畜診療所)	〃
4月27日	〃 (世羅支所)	世羅町
〃	〃 (府中家畜診療所)	府中市
4月28日	部長・室課長・支所長会議	広島市
〃	「安心の未来」拡充運動表彰審査委員会	〃
5月12日	決算監査(三次支所)	三次市
〃	〃 (三次家畜診療所)	〃
〃	〃 (庄原家畜診療所)	庄原市
5月14日	〃 (家畜臨床研修所・東広島家畜診療所)	東広島市
〃	〃 (東広島支所)	〃
〃	余裕金運用管理委員会	広島市
5月18日	決算監査(広島支所)	〃
5月18日～19日	〃 (本所)	〃
5月21日	広報委員会議	広島市他
5月24日	農作物共済(水稻)加入推進等に係る検討会	〃
5月25日	果樹共済及び任意共済担当課長等会議	〃
5月26日	家畜共済特定損害防止事業担当者会議	〃
5月27日	コンプライアンス責任者会議	広島市
〃	理事会 総務委員会	〃
〃	理事会	〃
5月28日	情報セキュリティ委員会	〃
〃	農業保険推進協議会 通常総会	〃
5月31日	家畜共済担当課長等会議	広島市他
6月3日	果樹共済事務講習会	〃
6月7日	任意共済事務講習会	〃
6月9日	第8回通常総代会	広島市
6月15日	損害評価会 果樹共済常緑果樹部会	〃
6月21、24、30日	コンプライアンス研修会	広島市他
6月22日	内部監査・情報セキュリティ監査(庄原家畜診療所)	庄原市

月 日	行 事 内 容	場 所
6月23日	〃 (三次家畜診療所)	三次市
6月28日	内部監査・情報セキュリティ監査(北広島家畜診療所)	北広島町
6月29日	家畜診療所長会議	広島市
6月30日	内部監査・情報セキュリティ監査(府中家畜診療所)	府中市
7月6日	〃 (家畜臨床研修所・東広島家畜診療所)	東広島市
7月8日	内部監査(北広島支所)	北広島町
7月13日	内部監査・情報セキュリティ監査(廿日市出張所)	廿日市市
7月14日	〃 (広島支所)	広島市
〃	中堅職員研修会	広島市他
7月15日	一般職員研修会Ⅰ	〃
7月16日	内部監査・情報セキュリティ監査(江田島連絡所)	江田島市
7月19日	初級職員研修会	広島市他
7月20日	一般職員研修会Ⅱ	〃
7月21日	内部監査・情報セキュリティ監査(東広島支所)	東広島市
7月27日	〃 (福山支所)	福山市
8月2日	〃 (三次支所)	三次市
8月3日	部長・室課長・支所長会議	広島市
〃	役員研修会	〃
8月4日	内部監査・情報セキュリティ監査(世羅支所)	世羅町
8月6日	家畜共済事務講習会	広島市他
8月12日	内部監査・情報セキュリティ監査(収入保険課)	広島市
8月17日	〃 (果樹任意課)	〃
8月19日	〃 (農産園芸課)	〃
8月23日	〃 (家畜課)	〃
〃	農作物共済(水稻)損害評価現地研修会	東広島市
8月25日	内部監査・情報セキュリティ監査(企画情報課)	広島市
8月27日	〃 (経理課)	〃
〃	損害評価会 農作物共済部会	広島市他
8月30日	情報セキュリティ監査(監査室)	広島市
8月31日	内部監査・情報セキュリティ監査(総務課)	〃
9月1日	余裕金運用管理委員会	〃
9月3日	任意共済損害評価講習会	広島市他
9月7日	理事会 総務委員会	広島市
9月8日	果樹共済損害評価研修会	広島市他

月 日	行 事 内 容	場 所
9月16日	理事会	広島市
〃	監事会	〃
9月17日	情報セキュリティ監査(北広島支所)	広島市
10月1日	家畜診療所運営委員会	〃
〃	家畜診療所長会議	〃
10月12日	広報委員会議	広島市他
10月19日	コンプライアンス責任者会議	広島市
〃	部長・室課長・支所長会議	〃
10月22日	園芸施設共済担当者会議	広島市他
10月25日	中間監査(北広島家畜診療所)	北広島町
〃	〃 (北広島支所)	〃
10月26日	初級管理職研修会	広島市他
10月27日	管理職研修会	〃
10月28日	果樹共済(ぶどう・なし)担当者会議	〃
10月29日	中間監査(家畜臨床研修所・東広島家畜診療所)	東広島市
〃	〃 (東広島支所)	〃
11月1日	畑作物共済(大豆)損害評価現地研修会	世羅町
11月4日	中間監査(世羅支所)	〃
〃	〃 (府中家畜診療所)	府中市
11月5日	損害評価会 果樹共済常緑果樹部会	広島市
11月10日	中間監査(三次支所)	三次市
〃	〃 (庄原家畜診療所)	〃
〃	〃 (三次家畜診療所)	〃
11月12日	中間監査 (福山支所)	福山市
11月17日	中間監査 (広島支所)	広島市
11月17日～18日	〃 (本所)	〃
11月22日	水稻共済損害評価等検討会	広島市他
11月24日	県常例検査(北広島支所)	北広島町
〃	〃 (北広島家畜診療所)	〃
11月25日	〃 (福山支所)	福山市
11月26日	〃 (広島支所)	広島市
11月29日、12月1日	県常例検査・検査講評(本所)	〃
11月30日	余裕金運用管理委員会	〃
12月2日	理事会 総務委員会	〃

月 日	行 事 内 容	場 所
12月6日	損害評価会 果樹共済落葉果樹部会	〃
12月7日	果樹共済(りんご)担当者会議	広島市他
〃	理事会	広島市
12月9日	内部監査(家畜臨床研修所・東広島家畜診療所)	東広島市
12月10日	部長・室課長・支所長会議	広島市
12月13日	内部監査(世羅支所)	世羅町
12月14日	損害評価会 農作物共済部会	広島市
12月15日	情報セキュリティ委員会	〃
12月16日	内部監査 (三次支所)	三次市
12月17日	〃 (江田島連絡所)	江田島市
12月20日	〃 (東広島支所)	東広島市
12月21日	〃 (庄原家畜診療所)	庄原市
〃	〃 (三次家畜診療所)	三次市
〃	臨時総代会	広島市
12月22日	内部監査(廿日市出張所)	廿日市市
12月23日	家畜診療所長会議	広島市
12月24日	内部監査(府中家畜診療所)	府中市
令和4年		
1月 7日	〃 (北広島家畜診療所)	北広島町
1月11日	〃 (福山支所)	福山市
1月12日	家畜共済担当者会議	広島市他
1月13日	内部監査(北広島支所)	北広島町
1月14日	〃 (広島支所)	広島市
1月19日	〃 (収入保険課)	〃
1月21日	〃 (果樹任意課)	〃
1月24日	〃 (企画情報課)	〃
1月25日	果樹共済・任意共済担当課長等会議	広島市他
〃	内部監査(農産園芸課)	広島市
1月27日	〃 (経理課)	〃
1月31日	〃 (家畜課)	〃
2月2日	〃 (総務課)	〃
2月4日	部長・室課長・支所長会議	〃
2月9日	損害評価会 果樹共済落葉果樹部会	広島市他
2月10日	損害評価会 農作物共済部会	〃

月 日	行 事 内 容	場 所
2月24日	家畜共済担当課長等会議	〃
2月28日	理事会	広島市
〃	監事会	〃
3月2日	広島県農業保険推進協議会 臨時総会	〃
3月2日	損害評価会 家畜共済部会	広島市
3月3日	広報委員会議	広島市他
3月4日	損害評価会 果樹共済常緑果樹部会	広島市
3月9日	コンプライアンス責任者会議	〃
〃	部長・室課長・支所長・所長会議	〃
3月10日	損害評価会 畑作物共済部会	〃
3月15日	家畜診療所長会議	〃
3月16日	臨時総代会	〃
3月17日	余裕金運用管理委員会	〃
〃	コンプライアンス改善委員会	〃
3月22日	「安心の未来」拡充運動実践企画会議	広島市他
3月28日	理事会	広島市
〃	監事会	〃

イ 総 代 会

(ア) 通常総代会

(令和3年6月9日)

総代会日現在総代数 (A)	153人	出 席 率
本 人 出 席 (B)	6人	(B)／(A) 3.92%
代 理 出 席	0人	
書 面 出 席	142人	
出 席 者 計 (C)	148人	(C)／(A) 96.73%

重要な議事及び議決事項

1. 令和2年度事業報告書、財産目録、貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分案並びに不足金処理案について
2. 令和3年度事業計画設定について
3. 令和3年度事務費賦課額及び賦課方法について
4. 令和3年度役員報酬、顧問料、損害評価会委員、損害評価会支所委員、家畜診療所運営委員、損害評価員及び共済委員等の手当支給額について
5. 令和3年度における借入金の最高限度額について
6. 令和3年度余裕金預入先決定について
7. 事業規程の一部変更について
8. 職員給与規則の一部改正について
9. 実施体制の改善計画の一部変更について
10. 農業共済事業のニーズ調査に係る取組状況について
11. 損害評価会委員及び損害評価会支所委員の退任及び補充選任について

(イ) 臨時総代会

(令和3年12月21日)

総代会日現在総代数 (A)	153人	出 席 率
本 人 出 席 (B)	6人	(B)／(A) 3.92%
代 理 出 席	0人	
書 面 出 席	143人	
出 席 者 計 (C)	149人	(C)／(A) 97.39%

重要な議事及び議決事項

1. 果樹共済危険段階別共済掛金率の設定について
2. 畑作物共済危険段階別共済掛金率の設定について
3. 実施体制の改善計画の一部変更について

(令和4年3月16日)

総代会日現在総代数 (A)	153人	出席率
本人出席 (B)	6人	(B) / (A) 3.92%
代理出席	0人	
書面出席	147人	
出席者計 (C)	153人	(C) / (A) 100.00%

重要な議事及び議決事項

1. 事業規程の一部変更について

ウ 組合員の増減

年度始組合員数	年度末組合員数	増 減 (△)	摘 要
64,201人	62,087人	△2,114人	

エ 役職員その他

(7) 役職員

役員数	理 事						監 事		合 計		
	常勤 0人		非常勤 13人		計 13人		3人		16 人		
職	事項 性別	参 事 監 査 室	事 業 部			家 畜 部	総 務 部			計	
			農作物・ 畑作物・ 園芸施設	果 樹 ・ 任 意	収 入 保 険	家 畜	総 務	経 理	企 画 情 報		
員	男	人 1	人 3	人 7	人 4	人 4	人 27	人 4	人 2	人 4	人 56
	女			1	2		9	2	2	2	18
	計	1	3	8	6	4	36	6	4	6	74
数	事項 性別	広 島 支 所	北広島 支 所	東広島 支 所	世 羅 支 所	福 山 支 所	三 次 支 所	計			計
男	人 10	人 15	人 16	人 14	人 9	人 16	人 80			人 136	
女	6	4	4	6	4	5	29			47	
計	16	19	20	20	13	21	109			183	

(イ) 職員勤務場所

	本 所	支 所 等	臨床研修所	診 療 所	計
男	人 33	人 80	人 2	人 21	人 136
女	10	29		8	47
計	43	109	2	29	183

(ウ) 総代、共済委員、NOSA I 部長、損害評価会委員、損害評価会支所委員、損害評価員

総 代	共 済 委 員	N O S A I 部 長	損 害 評 価 会 委 員	損 害 評 価 会 支 所 委 員	損 害 評 価 員
153 人	6,209 人	129 人	45 人	191 人	913 人

(10) そ の 他

- ア 決算日後に生じた組合の状況に関する重要な事実
該当事項はなし